

高田花ロード、100キロマラソン



みんなで盛り上げ、賑やかに

12日はえちご・くびきの野100キロマラソン等のイベントがいっぱい。マラソンの60キロの部のコースが、高田の街中を通り、しかも本町5丁目交差点が折り返し地点になるといので、まずは高田へ。高田は花ロードの開催中でした。本町通りを歩いて鑑賞しました。板倉区の「いたくら桜園」などいくつかの福祉施設が素敵な作品を出しているのは驚きでした。オープンガーデン

ていきました。みんなが花ロードを盛り上げようとしていくんですね。高田のまちは私が3年間高校生活を送った場所です。花の作品が展示され、華やいだ雰囲気の中をランナーが走りまわりました。いいもんですね。花以外の素敵な光景にも出会いました。迫力満点の歌声を街に響かせていたくろみつさんのコンサート。恐竜が出てくる大型絵本を使って、読み聞かせをしているグループ



た選手の中に私が知っている小池修さん、市村直毅さんなどの姿を見つけた時はうれしかったです。大会を盛り上げようと仮装して走った選手もいます。いろいろな係のボランティアさんがいて、100キロマラソンを支えてくれました。天気良かったこともあり、近くの福祉施設からも車いすに乗った人たちが大勢、駆けつけていました。(写真上)

を市民に開放しているところもあります。そのひとつ、旧内山金物店の屋上(写真左上)では野の花や園芸種が所狭しと咲いていました。楽しそう

午後からは吉川区総合事務所前で100キロマラソンの応援です。走つ

この日、観衆に大きな感動を与えたひとりには市村雅幸選手。えちご・くびき野マラソン出場10回。総合事務所前のゲートをくぐったのは午後4時半頃でした。走っては歩き、歩いては走り、最後は笑顔でゲートをくぐりました。もちろん最高の拍手が送られました。

名立区で長野市議会との交流会

10日は、上越市議会と長野市議会との交流会でした。今回は長野市議会のみなさんが火力発電所や港などを視察したのち、上越市議会と意見交換、懇親会となりました。

歓迎挨拶では佐藤議長が日本で一番美しい夕日のこと、上越で発電した電気が長野に供給されていることなどをユーモアたっぷりに話されました。挨拶は一級です。

さて懇親会では、日本共産党議員団の野々村博美、佐藤久美子、阿部孝二の3議員や他党派議員と交流できました。インターネットでの発信やビラづくりなどについていくつかヒントをもらいました。



会場には上越の酒蔵の16銘柄がずらりと並びました。これが評判でした。酒を愛する人たちが列になる場面もありました。安塚区出身の佐藤久美子議員がリングなど地元の果物の宣伝をしていたのには驚きました。見習わなきゃ。



【シラネセンキュウ】セリソ科の多年草。漢字で「白根川芎」と書きます。花は白色で、9月から11月にかけて咲きます。あまり陽が当たらない山地の日陰、溪流沿いなどで見かけます。写真は、大島区竹平センター脇にて撮影。

はしづめ法一の活動レポート

No.1679 2014.10.19

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628 吉川有線 4867

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三二七回

義母からの電話

びつくりしました。「母が電話かけてきて、来ないかと言ってるし、あんた、車貸して」午後三時前、吉川区敬老会が終わって家に戻ったら、妻がそう言うのです。電話は義姉の携帯を使い、妻の携帯にかかってきました。こんなことは初めてでした。

義母は義兄との二人暮らし、柏崎市上軽井川に住んでいます。私の母とは同じ年の生まれですが、四か月ほど母よりも遅く生まれました。今年九〇歳です。私がひと月ほど前に訪ねた時は稲刈りが始まる頃でした。デイサービスセンターに通うことになったと聞いていたので、少し弱ってきたのかなと思っていました。とても元気でした。

「何かあったのだろうか」そう思ったのは私だけではなく、妻もそうだったようです。私は新聞屋さんに持ち込む折り込みチラシの配達などがあつたものだから、それらを早く済ませて、県道上越安塚柏崎線を通って妻とともに柏崎の家に向かいました。

義母は八〇代後半から台所での料理が難儀になってきました。なるべく料理の心配をかけないようにと、訪問するときはいつも食べ物を持参することになっています。この日は家から何も持って行かなかったため、柏崎市内のスーパに立ち寄り、寿司、ワカメのメカブ、それと新発売の「妙高ラーメン」を買って、妻の実家に行きました。

心配だったのでしよう、妻は車から降りるとすぐに家の中に入っていました。私は持参したパソコン、買い求めた寿司などを持ってから玄関へと向かいました。玄関の戸を開け、妻よりも二分ほど遅れて家に入ったところ、玄関から真つすぐのところにある義母の部屋ではもう笑い声が上がっていました。妻が、「元気がなくしていると思つた」とかなんとか言つたのでしよう。私が部屋に入ると、そこには義母だけでなく義兄もいて、みんなにこにこしています。すっかり安心しました。

安心した私は寿司とラーメンを食べた後、横にならせてもらいました。この日は朝から宣伝行動や敬老会などがありましたので、けっこう疲れがたまっていました。この日は朝からとちよつとした品物を送つたところ、お菓子が送られてきたことなどを語りました。義兄はいま自力で進めている田直しについて図面まで持ち出して語りました。これから直したいという田んぼは上軽井川から柿崎区の黒川地区にお嫁に行った人の了解をもらわないとできないとか。熱心な語りに感心しました。

寝転んでウトウトしながら親子三人の会話を聞いていたら、そのうち、私に加わらない方がいいような楽しい話で盛り上がっていました。ずっとずっと昔のこと、妻の家族と妻の叔父にあたる城之組の藤巻さん親子が米山登山をした時のことです。柏崎の太平から登ろうとして違う場所に行つてしまいました。下山のときにも道を間違えて、大平ではなく今度はなんと柿崎区の岩野に出てしまいました。暗い道を柿崎まで歩いたとか。最後は柿崎でラーメン食つて汽車に乗って無事帰つたそうです。大の男、ふたりが「おれたちについて来い」と言いながら、まったくあてにならないと大笑いしていました。

こんなに楽しい会話ができるなんて、やはり親子はいいもんですね。次回は電話が来ないうちに訪ねようと思います。

最高齢参加者はまだ農業現役、95歳

第10回吉川区敬老会が9日、長峰温泉ゆったりの郷で開催されました。参加者は288人でした。

式典では、関原副市長が、「皆さんは激動の時代にずっと地域、日本のために貢献されてきました。敬意を表します。大きな節目を迎え、未来を考えたまちづくりをしていかねばなりません。みなさんは尾神岳の豊かな自然の中で育つて来られ、まじめで人情味あふれるみなさんです。これからもご活躍を」とお祝いと激励の挨拶をされました。

来賓の挨拶、江口副議長が、「我々がいま笑顔で暮らせるのも皆さんのおかげです。吉川と言えば、酒の町、これからも伸びると思います。適量の酒を飲むことは長生きの秘訣。新幹線は夢と富を運んでくれるものです。これをどう活用するかが課題です」と訴えられました。

私も挨拶兼万歳の三唱をさせて

もらいました。挨拶では朝市でがんばっている高齢者の人たちのことや朝ドラ、「花子とアン」のことをとりあげ、平和を守ることの大切さを訴えました。

今回初めて特別養護老人ホーム入所者も数人参加（写真左上）しました。恒例となった「ゆったりの郷中村一座」の今年の出し物は振り込め詐欺でした。なかなかいい出来でした。今回の参加者の最高齢は野村廣良さん、95歳です。まだ農業現役で、いまでも草刈り機を使っているとのことでした。一緒に記念撮影しました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月8日(水)	10月15日(水)
上越南消防署	0.036	0.030
上越北消防署	0.053	0.057
新井消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.043	0.057
頸北消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.056	0.050
高士分遣所	0.057	0.040
名立分遣所	0.046	0.050

春よ来い

第三二七回

義母からの電話

びつくりしました。「母が電話かけてきて、来ないかと言ってるし、あんた、車貸して」午後三時前、吉川区敬老会が終わって家に戻ったら、妻がそう言うのです。電話は義姉の携帯を使い、妻の携帯にかかってきました。こんなことは初めてでした。

義母は義兄との二人暮らし、柏崎市上軽井川に住んでいます。私の母とは同じ年の生まれですが、四か月ほど母よりも遅く生まれました。今年九〇歳です。私がひと月ほど前に訪ねた時は稲刈りが始まる頃でした。デイサービスセンターに通うことになったと聞いていたので、少し弱ってきたのかなと思っていました。とても元気でした。

「何かあったのだろうか」そう思ったのは私だけではなく、妻もそうだったようです。私は新聞屋さんに持ち込む折り込みチラシの配達などがあつたものから、それらを早く済ませて、県道上越安塚柏崎線を通って妻とともに柏崎の家に向かいました。

義母は八〇代後半から台所での料理が難儀になってきました。なるべく料理の心配をかけないようにと、訪問するときはいつも食べ物を持参することになっています。この日は家から何も持って行かなかったため、柏崎市内のスーパーに立ち寄り、寿司、ワカメのメカブ、それと新発売の「妙高ラーメン」を買って、妻の実家に行きました。

心配だったのでしよう、妻は車から降りるとすぐに家の中に入っていました。私は持参したパソコン、買い求めた寿司などを持ってから玄関へと向かいました。玄関の戸を開け、妻よりも二分ほど遅れて家に入ったところ、玄関から真つすぐのところにある義母の部屋ではもう笑い声が上がっていました。妻が、「元氣なくしていると思つた」とかなんとか言つたのでしよう。私が部屋に入ると、そこには義母だけでなく義兄もいて、みんなにこにこしています。すっかり安心しました。

安心した私は寿司とラーメンを食べた後、横にならせてもらいました。この日は朝から宣伝行動や敬老会などがありましたので、けっこう疲れがたまっていました。この日は朝からとちよつとした品物を送つたところ、お菓子が送られてきたことなどを語りました。義兄はいま自力で進めている田直しについて図面まで持ち出して語りました。これから直したいという田んぼは上軽井川から柿崎区の黒川地区にお嫁に行った人の了解をもらわないとできないとか。熱心な語りを感じしました。

寝転んでウトウトしながら親子三人の会話を聞いていたら、そのうち、私が加わらない方がいいような楽しい話で盛り上がっていました。ずっとずっと昔のこと、妻の家族と妻の叔父にあたる城之組の藤巻さん親子が米山登山をした時のことです。柏崎の太平から登ろうとして違う場所に行つてしまいました。下山のときにも道を間違えて、太平ではなく今度はなんと柿崎区の岩野に出してしまいました。暗い道を柿崎まで歩いたとか。最後は柿崎でラーメン食つて汽車に乗って無事帰つたそうです。大の男、ふたりが「おれたちについて来い」と言いながら、まったくあてにならないと大笑いしていました。

こんなに楽しい会話ができるなんて、やはり親子はいいもんですね。今回は電話が来ないうちに訪ねようと思います。

安倍内閣の暴走にストップを！女性のみなさんが集会とアピール

女性のみなさんの力はすごいですね。13日の午後、市民プラザに50人ほどの女性のみなさんが集まり、「原発再稼働、集団的自衛権行使容認、消費税増税など暴走を続ける安倍内閣をやめさせよう」「民生費割

合が全国で最低の新潟県政を変えよう」と集会を行い、その後、街頭にてドライバーにプラカードを向けてアピールしました。私も宣伝カー上から演説、「たたかひの先頭に立つ」と決意表明しました。

集会では上野公悦議員と私が安倍政権の暴走ぶりを告発、「力を合わせて安倍内閣をやめさせよう」と訴えました。

その後のリレートークでは、「橋爪さんの声を聞くと一日幸せになれる。たくさんの人に声をかけます」「子どもは男の子が4人、女の子が1人います。

男の子たちを戦争には送りたくありません」「人間と核は共存不可能です。原発は即廃止を」「TPP反対の思いを県議会に届けてください」「消費税が上がってお客さんが減りました。仕入れも値上がりしています。消費税増税反対です」「非正規の保育士をやっています。収入は月額12万円、ボーナスなしです。なんとかしてほしいです」など、たくさんの願い、たくさんの励ましの言葉を寄せていただきました。

集い終了後の街頭でのアピールでは集会参加者が勢ぞろいして訴えました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月8日(水)	10月15日(水)
上越南消防署	0.036	0.030
上越北消防署	0.053	0.057
新井消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.043	0.057
頸北消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.056	0.050
高士分遣所	0.057	0.040
名立分遣所	0.046	0.050

